

大崎町地域にぎわいづくり事業補助金 活用事例紹介

■ 野方六月灯 (野方六月灯実行委員会)

今年で18回目となる野方六月灯。年々、事業規模が大きくなる中で、主にイベント時の環境整備をしたいと大崎町地域にぎわいづくり事業補助金を活用しました。当日は飲食ブースの設置や抽選会もおこない、近隣の小学校や幼稚園、介護施設が描いた約1000枚の絵を使用した250個以上の灯ろうと、竹やペットボトルで作った灯ろう約200個の計約450個の灯ろうが野方の夜を彩りました。

実行委員長の川原さんは「多くの方々の協力をいただき、地域の子どもの思い出作りの場を提供することができたと思います。」と話されました。



■ 三股大崎町特産品フェア (地域特産品フェア実行委員会)

地域の特産品を活用し、にぎわいづくりや交流人口を創出したいと、主に広告費に使うために、大崎町地域にぎわいづくり事業を活用して特産品フェアを実施しました。

当日は、より多くの方に来ていただくために、三股町の物産館との連携や、豪華特産品のあたる抽選会も午前と午後の2回実施し、多くの来場者でにぎわい、中には遠方から来られたという方もいらっしゃいました。

実行委員長の山野さんは「大崎と三股町とコラボ開催することができて、お互いの魅力ある特産品を町内外の方々に知っていただき、購入いただくよい機会となりました。」と話されました。



■ オールドカーフェスタinおおさき (オールドカーフェスタinおおさき実行委員会)

現代ではあまり見ないデザインの旧車を展示し、愛好家の集いをおこなうことで、にぎわいを創出し、大崎町の豊かな自然や、魅力あふれる特産品に触れてもらうことで大崎町ファンの拡大に繋げるイベントを実施したいと、大崎町にぎわいづくり事業を活用して、オールドカーフェスタを実施しました。

当日は昭和・平成の時代を駆け抜けた名車約140台が展示されたほか、ステージやキッチンカーなどもあり、多くの来場者でにぎわいました。

実行委員長の西山さんは「協賛金だけでは不足していた部分を補助金で賄うことができ、より充実したイベント内容となった。」と話されました。

